

子どもに届く 声かけ

お子さんに指示を出すとき、どのように声かけしていますか

キッチンから、リビングでゲームをする子どもの後ろ姿を見て、大声を出していませんか？
返事がなかったり、生返事だったら、次第に声が大きくなり怒り口調になってはいませんか？
お互いに気持ち良く生活する為の、声かけのポイントを押さえましょう。

声かけ4か条

1 子どものそばで 落ち着いた声で話す	2 子どもの注意を 向かせてから話しかける
3 具体的にしてほしい 行動を伝える	4 短くシンプルに伝える

ポジティブことばにチェンジ！

NGな声かけ	good! な声かけ	ワンポイント
走ったらダメ	→ 歩こうね	してほしい行動を伝える
危ない	→ ストップ	
うるさい	→ 声を“これくらい”にしてね（実演） いまゾウさんの声だから、“アリさん”の声で話してね（実演）	実例・実演
ちょっと待って	→ あと、5分待ってね 時計が“4”になるまで待ってね	時計、タイマーの活用
いい加減にやめて	→ あと〇分（あと〇回）で終われる？	本人に期限を決めさせる 期限が近づいたらカウントダウン
危ないからダメ	→ お母さん、ケガが心配。だから降りよう。	気持ち+具体的行動
（こぼして）あーあ、もう！	→ 雑巾で拭こうね。一緒に拭くの手伝ってくれる？	対処方法を伝える
（転んで）痛くない、痛くない	→ 痛かったね。痛い痛い飛んでけ～！	共感する
いつになったら宿題するの！	→ 宿題、何時から始める？ ・〇時まで、あと10分です。…あと5分です。 ・〇時までなら、お母さん手伝えるよ。 ・〇時までに終わったら、一緒にアイス食べようか。	本人に期限を決めさせる 損・得
こら！〇〇太～！	→ （事前に）お母さんの怒りスイッチが、いま2つ目です。 次やったら爆発するからね。	事前にコミカルに警告する
集中しなさい！	→ いま、何やってたんだっけ？	“いま”に意識を戻す